

令和8年 第1回 木古内町教育委員会

議 事 録

- 開催日時 令和8年1月22日 9:30-10:30
- 場 所 木古内町中央公民館 講座室
- 出席委員 西山敬二 教育長、工藤嗣美 委員、竹田光伸 委員
手塚和宏 委員
- 欠席委員 古城美佳 委員
- 事務局出席 ひとつくり未来課 中村課長、森山主幹
学校教育G寺井主査、社会教育G太田主査
- 傍聴者 3名

1. 開会

木古内町教育委員会会議規則 第6条の規定により、西山教育長の宣言にて会議が開会され、進行も西山教育長がそのまま務めた。

- 教育長より挨拶
 - 1月16日に3学期の始業式が行われ、特に大きな問題もなくスタートした。
 - 高校入試について、私立が2月13日、公立が3月4日という日程。すでに1名、私立の推薦で合格したという話もあった。
 - 教職員の人事について、現在2次協議中。初任の先生や4年目までの先生が結構多いため、今回はできるだけ学校全体のバランスを確保できるように、各所と協議しながら進めている。
 - 入学式の日程について、当町では4月6日に行っていたが、4月1日の異動から土日を挟むと2~3日しかない中で、入学式や始業式、担任決めなどの準備時間が非常にタイトということもあり、全国的な動向に合わせて4月8日に入学式を行うということで進めている。

2. 署名委員指名

- 今回議事録の署名委員について工藤嗣美 委員を指名

承認

3. 会議録の承認について

- 事前配布された前回議事録の承認を諮り、委員から異議なしの確認

会議録（令和7年 第12回）承認

4. 教育長諸報告

- 事前配布資料を元に説明。主な行事について補足。
 - はたちの集い：令和8年1月3日に式典が開催されました。教育委員の皆様にもご出席いただき、ありがとうございました。年々対象者数は減って寂しい状況にはありますが、町としては二十歳を迎えた節目をお祝いするということで今後も続けていきたいと考えています。今年から年末・年始休み期間が変わっており、これまで12月31日から1月5日まででしたが、法律で定められている12月29日から1月3日に町も合わせるということになりました。今年はずっと土日を入れて9連休という形でしたが、その中での1月3日の開催となりました。
 - 「JPホールディングス」とのウェブ会議：1月4日に打ち合わせをウェブ会議で行いました。まだ正式決定はしていませんが、1月末で友好都市の調印についての予定が決まることになっています。ALTについても決まり次第、皆さんにご報告したいと思っております。
 - 寒中みそぎ祭り：1月13日、令和7年の寒中みそぎ祭りがありました。今回、行修者の1名が交代するということがありましたが、無事に終了しております。私も今回初めて袴（かみしも）を着て参加させていただきましたが、やはり襦（みそぎ）部屋や前日の水垢離（みずごり）等を見て、感動するものがありました。この伝統を多くの方に感じて

いただければと改めて感じたところです。

進行役：諸報告については以上です。何か質問はありますか？

(委員から質問なし)

【議案審議】

進行役：ありがとうございます。それでは議案の方に入ります。今回は議案が1点です。議案第1号「令和8年度予算要求確保・査定状況について」、事務局から説明をお願いします。

事務局：はい。それでは議案第1号の資料をご参照ください。

<歳入について>

まず歳入からご説明いたします。令和7年度は総額で1,293万2,000円の予算、主なものとしてGIGA端末の導入費に対する補助が544万2,000円と大きなものとなっていました。令和8年度の歳入予算額は699万4,000円で、令和7年度と比較すると593万8,000円の減少となります。これは主にGIGA端末の補助事業の部分が無くなったことによる差です。その他、少額の差額はありますが、当年実績見込みに合わせたことによるものです。

<歳出：学校教育グループ>

続いて学校教育グループの歳出です。

事務局費について、令和7年度予算5,887万2,000円に対し、令和8年度は6,474万円となり、586万8,000円の増額です。主な理由は職員の報酬改定と、学校支援員について学校からヒアリングを行い、1名ずつ増員できないかという要請があり、体制を整えるため予算を組みました。また、後ほど説明する新規事業分も含んでの増額となっております。

姉妹都市交流事業については、今年8月に鶴岡から訪問団を受け入れるため、50万円を増額計上しています。社会科副読本編集事業については、今年度中に小学校3・4年生向けの副読本が完成予定であり、令和8年度からはそれを使用するため、予算計上はありません。

小学校費の管理費については、483万5,000円の増額となっております。これは給食等で用いるエレベーターのポンプ修繕が必要なためです。現在は稼働

していますが調子が悪くなっており、万が一の際に給食運搬や、怪我をした児童の松葉杖等の移動に支障が出ないように予算計上しました。教育振興費では、GIGA端末の購入費が今年度はないためその分が減少しています。中学校費についても同様に、端末購入費分の減少が主な変更点です。

<新規事業：学校教育>

次のページをご参照ください。

まず、「みんなでトライ 検定サポート事業」です。数検・漢検・英検を受ける児童生徒への補助事業を検討しています。高校入試の志願書に書ける検定として一般的なこの3つに対し、町としてサポートできればと考えています。小中学生は全額補助、大人や親子で学ぶ方には半額補助を考えており、中学3年生への進級見込み人数を基準に予算算定しています。

次に「防災教育フェス実行委員会補助事業」です。令和6、7年度は民間主導で行ってきましたが、マスコミ報道もされ事業が大きくなっていることから、町で予算を取り、実行委員会を立ち上げて実施してはどうかと考えています。予算額は60万円を見込んでいます。

<歳出：社会教育グループ>

続いて社会教育グループの歳出です。

社会教育総務事務費は、地域おこし協力隊の人件費が新規募集なしで減額となっています。

青少年健全育成事業は、後述する新規事業の放課後活動推進事業の分で40万円の増額です。公民館費・市場館費については、エアコン設置工事費を見込んで増額となっています。

保健体育費では、スポーツ少年団の補助金を増額計上しています。これは部活動の地域展開を見越した公式戦参加費などを考慮したものです。スポーツセンター管理費では、会計年度任用職員を1名増員して運用したいと考えています。スキー場についてはシーズン雇用の1名減とし、スポーツセンター側の職員で賄うことで減額を見込んでいます。パークゴルフ場は今年度トラクターを購入したため、来年度はその分が減額となります。

<新規事業：社会教育>

「青少年放課後活動推進事業」について説明します。部活動の地域展開が進む中で、放課後に子どもたちが活動できる場所を作ってほしいという提案があり、検討しています。「平日版の無名塾」的な形で、勉強や活動ができる

場所を提供できればと考えています。地域プロジェクトマネージャーからの提案事業であり、活動費は特別交付税で措置される予定です。また、「公民館講座推進事業」として、教育フォーラムを新たに提案しています。「旅する小学校」という団体と協議しながら進めていきたいと考えています。

以上が報告となります。

【質疑応答】

進行役：ありがとうございます。それでは中身について質問はありますか。

委員：JPホールディングスの事業予算についてですが、これはまだ準備段階ということですか？

事務局：はい、おっしゃる通りです。まだ正式な人数や協定が決まっていないため、現状の予算で計上しています。詳細が決まり次第、改めて教育委員会にお示しします。

委員：何も決まっていないから予算に含まない、ではなく、見込みでも計上しておくべきではないですか？

事務局：はい、現在計上しているのは準備費用が中心ですが、正式に決まれば教育委員会主体の事業費なども出てくると思います。それらは今後、補正予算等に対応する可能性があります。現在はウェブ会議や面接等の準備費用を見込んでいます。

委員：わかりました。次に新規事業の「みんなでトライ 検定サポート事業」ですが、これは学校でまとめて受験するのですか？それとも各自で受けるのですか？

事務局：現状は各自で受けていますが、学校とも連携して周知やサポートができればと考えています。また、放課後事業とも連携し、勉強したい子への対策も行いたいです。

委員：その放課後事業の講師についてですが、学校の先生にお願いしてはどうでしょうか？先生方の働き方改革も重要ですが、社会教育の講師として報酬を出しながら参加してもらうことで、生徒とのコミュニケーションも取れますし、地域移行のきっかけにもなると思います。

事務局：講師についてはまだ具体的に決まっていますが、予算的には講師を呼べる額を組んでいます。職員の中には教員免許を持っている者もいますし、先生方も巻き込んで良い事業にしていきたいと思っています。

委員：とても良い事業だと思います。ぜひ、学校の先生が社会教育に参加できる体制を作ってください。「頼まれてやる」のではなく、報酬のある仕事として「やってみたい」と思えるような形が良いと思います。

委員：検定サポートは素晴らしい事業です。ぜひ、町内で受験できるようにしてほしいです。以前、町民から受験したかったけど人数が集まらず、受験会場が木古内になくて受けられなかったという話を聞いたことがありますので。

事務局：人数要件で実施できない場合があるので、PRを強化して人数を集めることや、会場の縛りをなくして他地域での受験も補助対象にすることを考えています。親子でのチャレンジも推奨したいです。

委員：防災教育フェスについてですが、要配慮者の避難訓練なども絡めて実施してほしいです。ただのお祭りではなく、自力で避難できない人をどうするかという現実的な訓練を取り入れていただきたい。

事務局：はい。前回は総務課と話し合い、避難してきた方にフェスを体験してもらうような想定はしていましたが、最終的にはそこまで至りませんでした。防災担当とも連携し、冬の寒さ対策なども含め、具体的な避難訓練の要素も取り入れていきたいと思っています。

事務局：補足ですが、小中学校全学年に電子黒板を導入する予定です。現在は単なる大画面モニターを使っていますが、書き込みができる電子黒板とGIGA端末になれば、格段に授業の効率が上がると思います。例えば、普通の黒板にチョークで板書したものは次の授業の前に消してしまいましたが、電子黒板は書いたものがそのままデータとして残りますので、子どもたちが復習に使えるというメリットがあります。手元の端末に入力したものが即時に画面で表示されたり、児童生徒が大画面上で共同編集ができるなど、導入する価値があると考えています。

議案第1号（令和8年度予算要求確保・査定状況について）承認

【報告第1号：GIGA端末について】

事務局：お手元にChromebook（クロームブック）を配布しました。これは来年度から子どもたちが学校で使うものと同じ端末です。今後、会議の資料確認や連絡をこれで行っていきたいと考えています。ログイン設定等は済ませています。Wi-Fiに接続し、Googleアプリランチャーからドライブやメールを開いて資料を確認できます。今後は、会議の数日前に資料をデータでお送りし、ペーパーレス化を進めたいと思います。新年度からの本格運用を目指して2月・3月で試行運用していきます。不便な点があれば改善していきますので、ご協力をお願いします。

【次回日程】

進行役： 次回の会議ですが、2月に教育総合会議と第2回定例会を合わせて開催したいと思います。日時は2月26日（木）9時30分からとなります。場所は資料には公民館となっておりますが役場になると思います。詳細が決まりましたらご案内いたします。

委員：教育総合会議は何時からですか。

進行役：先に教育総合会議を開催し、終了後に引き続き定例会という流れで同時に開催します。

委員：わかりました。

進行役：これで本日の会議は全て終了となります。ありがとうございました。

署名委員 工藤 嗣美

[次第に戻る](#)